

\*\*\*\*\*  
本メールは日本臨床検査医会の電子メール新聞 JACLaP WIRE No.52 です。  
\*\*\*\*\*

===== 目次 =====

[事務局からのお知らせ]

会員動向 (2002年11月5日現在数 628名, 専門医 448名)  
平成14年度第三回 常任・全国幹事会開催予定  
平成14年度日本臨床検査医会総会、講演会について

[最新トピックス-1]

マラリア

[最新トピックス-2]

第10回 ILCP 会議(国際病理学関連学会長会議) - その1 -

[最新トピックス-3]

第10回 ILCP 会議(国際病理学関連学会長会議) - その2 -

[最新トピックス-4]

米国 CDC の感染管理ガイドラインの改訂版発行相次ぐ

[(株)じほう提供検査関連ニュース]

【The Medical & Test Journal 10月1日号から】

日衛協 臨衛技法から独立した業態法制定へ始動  
日本臨床検査医学会学会賞に山田氏ら3氏

【The Medical & Test Journal 10月11日号から】

日本臨床検査医学会 臨床検査使い方ガイドライン第4次案まとまる  
芝東京医科歯科大教授ら 高感度尿蛋白質定量装置の開発進む  
日臨技 CRC 連絡協議会に正式加盟  
日臨技、日本学会協議会員の登録決まる  
ウエストナイルウイルスの国内進入阻止で関係5省が緊急会議  
第38回小島三郎記念文化賞に品川帯広畜産大学教授

【The Medical & Test Journal 10月21日号から】

坂口厚労相 C型肝炎問題は薬害エイズなどとは違う位置づけ  
社会保険中央総合病院 MIC データを抗菌薬の適正選択に活かす  
日本臨床病理同学院 14年度「緒方富雄賞」に坂場氏ら3氏決まる  
三菱化学メディカル 新規乳がん診断薬の国内独占使用権を取得  
島津製作所の田中耕一氏 ノーベル化学賞を受賞  
東京文化医学技術専門学校 創立50周年記念式典開かれる

[事務局からのお知らせ]

会員動向 (2002年11月5日現在数 628名, 専門医 448名)

所属変更

萩原 剛 (東京医科大学臨床検査医学) 馬込中央診療所

浦山 修 (川井クリニック)

筑波大学臨床医学系看護科学類教授

平成14年度第三回 常任・全国幹事会開催予定

開催日: 2002年11月21日

場 所: グランキューブ大阪 (大阪国際会議場)

1010-B

9:00~10:00: 常任幹事会

10:00~11:00: 常任・全国幹事会

平成14年度日本臨床検査医会総会・講演会

13:00~14:00 総会

総会の出欠は、既にお届けしてある往復はがきでご返事をお願いいたします。なお、欠席される先生は、委任状に署名・捺印し事務局までお届けください。

14:15~15:15: 講演会

予定演題: 「包括医療と検査センター、特にランチなどについて」

佐守 友博 先生 日本医学臨床検査研究所

[最新トピックス-1]

マラリア

全世界でのマラリアの発生率は毎年3~5億人で、死亡者は毎年100万人と推定されている。マラリアの90%以上はアフリカのサハラ砂漠以南の地域で流行し、残りはインド、ブラジル、スリランカ、アフガニスタン、ベトナム、コロンビアの6か国で発生している。マラリア患者のうち30%が地域紛争、戦争、自然災害の影響を受けている。紛争地域の人々に栄養不良、感染症、高度のストレスがあり、病気に罹患し易い環境となっている。最悪の状態にある難民は避難小屋もなく、外で寝ているため蚊に刺されマラリアに感染する。本邦では1991~1995年のマラリア患者数は104~117人(外国人27~41人を含む)である。

マラリア予防薬としては、Mefloquineを旅行3週間前に服用すること、出発前に服用できなかった場合には、Doxycyclineの毎日服用が推奨されている。

(獨協医科大学越谷病院臨床検査部教授 森 三樹雄)

## [最新トピックス-2]

## 第 10 回 ILCP 会議(国際病理学関連学会長会議) - その 1 -

ILCP 会議(International Liaison Committee of Presidents)とは英語を話す国、即ち、米国、英国、カナダ、アイルランド、オーストラリア、香港などの病理学会と臨床検査医学会(臨床病理学会)の会長および次期会長が 10 年前より毎年 1 回集り会議をもち、種々の情報を交換し討論する会となった。今回で第 10 回目になる。場所はアイルランドのコーク市で、2002 年 9 月 23 日～24 日に開催された。今回は病理医および臨床検査医に関して、教育と研修、就業時間、保険、専門医の資格と再認定、仕事の内容などについて討論した。

オーストラリアでは、病理学者の中で一般病理学者(General Pathologist)は少なく、専門病理学者(Momopathologist)が大半を占めているが、オーストラリアの医学評議会では、一般病理学者と専門病理学者の両方を一度に認定する方向に進んでいる。米国では、国からの補助が減ったために、研修する病理医の数も約 10%減少した。英国では卒業教育の期間が 9 年間から 7 年間に短縮される。EU 指令によると、EU 加盟国の中で病理医の資格を得るためには、最低 4 年間の病理学の研修が必要である。

(獨協医科大学越谷病院臨床検査部教授 森 三樹雄)

## [最新トピックス-3]

## 第 10 回 ILCP 会議(国際病理学関連学会長会議) - その 2 -

米国では店頭で販売されている自己診断キットで患者さんがヘパリンを測定した結果について、薬剤師が治療をアドバイスするような事例が起こり憂慮している。英国では、限定された薬品については、看護婦が処方することが認められている。米国では、病理医の能力を認定するために次のようなことを決めている。1) 専門医としての高い医療水準を確保していること 2) 生涯学習に継続的に取り組んでいること 3) 自己評価を含む学習していること 4) 10 年ごとに行われる病理医としての再認定試験(2016 年から開始する)を受けること 5) 病理医としての日常の達成度(報告書の質、診断の精度など)を確保する、などである。

病理医の就労時間については、EU では 1 週間に 48 時間を超えないようにする規則が 2009 年から 2012 年に導入される予定である。この際に研修医の不規則な宿当直の問題や、女性の病理医が増えているために仕事のパターンも変わりつつあることが問題になっている。米国では、継続して 24 時間以上の勤務ができないようなガイドラインができています。

(獨協医科大学越谷病院臨床検査部教授 森 三樹雄)

[最新トピックス-4]

米国 CDC の感染管理ガイドラインの改訂版発行相次ぐ

米国疾病管理予防センター (<http://www.cdc.gov>) は、感染管理に関連したガイドラインの改訂作業を進行中であるが、8月に発行された血管留置カテーテルに関連したガイドライン [MMWR, 2002年8月9日号: Vol. 51/No. RR-10, 2002年8月16日号:

Vol. 51/No. 32 (<http://www.cdc.gov/mmwr/PDF/RR/RR5110.pdf>,

<http://www.cdc.gov/mmwr/PDF/wk/mm5132.pdf>。 <http://www.sherwood.co.jp/> の What's new のコーナーから日本語訳版のダウンロード可能である) に続き、手の衛生に関するガイドラインも改訂版が発行された [MMWR, October 25, 2002 /51(RR16); 1-44.

<http://www.cdc.gov/handhygiene/>)]。新ガイドラインでは従来の流水手洗いに加え、手の衛生を保つためにアルコール系手指消毒薬の活用促進を推奨している。

(横浜市立大学医学部臨床検査部講師 満田 年宏)

===== JACLaP WIRE =====

【The Medical & Test Journal 10月1日号から】

日衛協 臨衛技法から独立した業態法制定へ始動

日本衛生検査所協会は、衛生検査所に関する法的事項が臨床衛生検査技師法に包含されている現状を打開するため、衛生検査所を別途規定する業態法制定にむけ動きだす方針だ。同協会の田端専務理事は本紙の取材に対し、「臨衛技法からの独立は、日本臨床衛生検査技師会の岩田会長らとの間でも合意ができた。新たな法律制定は、時間を要する事業であることは十分認識しているが、まず1歩を踏み出したい」との見解を示した。こうした考えを内外に示すため、今年度の検査普及月間大会は「業態法制定 医検分離」をサブタイトルにかかげる計画だ。医療と検査の分離、衛生検査所が検査実施料を支払基金へ請求するいわゆる「直接請求権」を勝ち取るには、業態法制定が必要とみている。行政立法だけでなく議員立法も視野にいれて本格的な検討を始める。

日本臨床検査医学会学会賞に山田氏ら3氏

日本臨床検査医学会はこのほど、平成14年度学会賞に山田恭暉氏(長崎大学大学院)ら3氏が受賞したと発表した。受賞講演は11月22日、大阪市の大阪国際会議場で開催する第49回総会で行う。受賞者の詳細は次の通り。

【学術賞】「ATLを腫瘍モデルとした分子診断の開発」(山田恭暉氏・長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床検査部門助教授) 【Bergmeyer-Kawai賞】「動脈硬化と血栓症に関

連する遺伝子多型研究」(村田満氏・慶應義塾大学医学部内科・中央臨床検査部講師)【生命科学賞】「胚細胞遺伝子診断の実践とネットワーク化」(小杉眞司氏・京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学講師)。

【The Medical & Test Journal 10月11日号から】

#### 日本臨床検査医学会 臨床検査使い方ガイドライン第4次案まとまる

拡大する包括医療に対応して適正な検査オーダーを出す指針となる日本臨床検査医学会の「臨床検査の使い方に関するガイドライン第4次案」がまとまった。平成13年度の厚生労働省委託研究(主任研究者:渡辺清明慶応大学教授、同学会副会長)として策定されたもので、11月23日に大阪市で開かれる日本臨床検査医学会総会(総会長:清水章大阪医大教授)で発表される見通しだ。渡辺委員長は「平成11年4月に第1次案を策定、今回の4次案まで改訂を重ねてきた。疾患数は2疾患を加えて全部で36疾患になった。今後も継続して検討を加えるとともに、各専門学会などへのアプローチを一層強化していきたい」との考えを表明した。

#### 芝東京医科歯科大教授ら 高感度尿蛋白質定量装置の開発進む

科学技術振興事業団は、このほど2002年度の独創的研究成果育成事業における採択研究・企業を発表した。検査領域に関する研究では、東京医科歯科大学保健衛生学部の芝紀代子教授(特許出願:常光)のほか、慶応大学医学部内科学の日比紀文教授(同:日本抗体研究所)、京都大学再生医科学研究所の坂口志文教授(同:日本クレア)、東北大学大学院の中野栄二教授(同:システムテクニカル)らの研究が選出された。この事業は、大学や国公立研究機関などの研究成果にもとづき、研究開発型中堅・中小企業とともに製品化に向けた試作品を作り、必要な可能性試験などを実施していく事業で、モデル化資金は1件当たり2000万~3000万円程度が提供されるもの。

#### 日臨技 CRC 連絡協議会に正式加盟

日本臨床衛生検査技師会はこのほど、CRC(治験コーディネーター)連絡協議会(代表世話人:中野重行大分医科大学臨床薬理学教授)に新たに加盟することを明らかにした。CRC連絡協議会は昨年、製薬協、日本臨床薬理学会、日本看護協会、日本病院薬剤師会、日本薬剤師研修センターの5団体がCRCの育成や認定問題、臨床試験のあり方について横断的に討議をすることを目的に設立された協議会。日臨技の岩田進会長は、数多くの臨床検査技師が

治験支援スタッフとして参画している現状にかんがみ、今夏、同協議会への加盟を申請、それが受理されたもの。

### 日臨技、日本学術会議会員の登録決まる

日本臨床衛生検査技師会の村瀬光春副会長は10月5、6の両日、富山市で行われた中部医学検査学会（山本貞明学会長）の基調講演で「日臨技は、9月に日本学術会議第19期登録団体として正式に認められた」と報告した。検査関係で日本学術会議会員になっているのは、日本臨床検査医学会（旧日本臨床病理学会）、日本臨床化学会、日本病理学会など。医療関連職能団体では日本理学療法士協会が会員になっている。同副会長は「日臨技は職能団体として活動するとともに、学術団体としての役割も担ってきた。日本学術会議会員は日臨技がこれまで要望してきたものだ」としている。

### ウエストナイルウイルスの国内進入阻止で関係5省が緊急会議

米国で流行しているウエストナイルウイルスについて厚生労働省は10月4日、農林水産国土交通、環境、外務の関係4省を集めた会議を開き、ウイルスの国内進入阻止に政府が一体となって取り組んでいく考えを確認した。厚労省結核感染症課の遠藤弘良課長は「各省と密に情報を交換し合い、今後新しい動きがあったときには連絡をとっていきたい」と述べ、各省に担当窓口の設置を求めた。

### 第38回小島三郎記念文化賞に品川帯広畜産大学教授

黒住医学研究振興財団は、平成14年度「第38回小島三郎記念文化賞」「第10回研究助成金」の贈呈式を10月18日午前11時から、東京・千代田区の東京会館で開く。第38回小島三郎記念文化賞には品川森一帯広畜産大学公衆衛生学教授が「動物のプリオン病に関する研究」の業績で受賞した。第10回研究助成金の贈呈者は次の通り（敬称略）。浅井さとみ（東海大学医学部臨床検査医学） 浅妻直樹（山梨医科大学医学部臨床検査医学） 大西真（宮崎医科大学医学部微生物学） 木村孝穂（群馬大学医学部附属病院検査部） 上阪等（東京医科歯科大学大学院生体応答調節学） 竹田徹朗（新潟大学医学部附属病院） 近浦靖（銀杏学園短期大学衛生技術科） 豊田実（札幌医科大学大学院医学研究科遺伝子診断医学） 古川ひさ子（福岡大学薬学部臨床薬物治療学） 堀江修（神戸大学医学部保健学科） 山口隆之（広島大学大学院医歯薬学総合研究科細菌学）

【The Medical & Test Journal 10月21日号から】

## 坂口厚労働相 C型肝炎問題は薬害エイズなどとは違う位置づけ

坂口力厚生労働相は10月11日の閣議後会見で、フィブリノゲン製剤によるC型肝炎感染問題で、国や旧ミドリ十字（現三菱ウェルファーマ）への集団提訴に向け、全国で被害者の会が発足している事態について、「総論的に言うと、今までのエイズやヤコブ病とC型肝炎とは違う」との認識を示し、国の一律的な責任を改めて否定した。被害者が希望している同相との面会は「今のところない」と現時点で面会の意思がないことを明らかにした。一方、検査体制の強化などを通じて被害者救済を図る姿勢を強調し、「C型肝炎に対する治療薬の開発ということに全力をあげて、支援していきたい」との考えを示した。

## 社会保険中央総合病院 MICデータを抗菌薬の適正選択に活かす

社会保険中央総合病院臨床検査部は、医師と微生物検査技師が協力してMIC測定に基づく検査データを適切な抗菌薬の選択に役立てている。臨床検査部では、数年前から薬剤部と共同で注射用抗菌薬の情報集を作成し、各病棟や外来などに配置している。情報集には、商品名、略号、一般名、用法・用量、血中濃度推移と組織・体液移行濃度が記載されている。ファイル形式となっているため、抗菌薬の新規導入、中止によって情報の追加・削除が可能だ。

## 日本臨床病理同学院 14年度「緒方富雄賞」に坂場氏ら3氏決まる

日本臨床病理同学院はこのほど、平成14年度（第18回）「緒方富雄賞」に、坂場幸治氏（防衛医科大学校病院）、三浦純子氏（虎の門病院）、吉田孝氏（滋賀医科大学病院）の3氏に決定したと発表した。贈呈式および祝賀パーティーは11月14日午後5時から東京・池袋のかんぽヘルスプラザ東京で行われる。

## 三菱化学メディカル 新規乳がん診断薬の国内独占使用権を取得

三菱化学の全額出資子会社である三菱化学メディカルは10月11日、米国バイオベンチャーのマトリテック社（マサチューセッツ州）が保有する新規乳がん診断マーカー「NMP66」とその検出技術に関連する国内独占使用権の取得について、マトリテックと11日付で合意したと発表した。同社は今後、マトリテックと共同でNMP66を活用した簡便な検査法について検討していくとともに、診断薬としての開発を行っていく予定。診断薬の発売時期については、2004年末を目標としている。

## 島津製作所の田中耕一氏ノーベル化学賞を受賞

島津製作所の田中耕一氏(分析計測事業部ライフサイエンスビジネスユニットライフサイエンス研究所主任)は、「生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発」の業績で今年のノーベル化学賞を受賞した。11日、都内で開かれたノーベル化学賞受賞の記者会見で、受賞理由となった研究成果について「ライフサイエンスにおいて、人の健康に役立つということが大きい」と評価した。田中氏は、「血液を採り、装置にかけることで病気の兆しが病気になる前にわかる。薬をつくるとき、効く物質のなかにあるものがわかる」と話し、医薬品の研究開発に貢献したことを示した。また、今回の受賞について、「みんなのサポートがあってこそということに気がついた」と、改めて関係者に感謝を示した。

## 東京文化医学技術専門学校 創立 50 周年記念式典開かれる

東京文化医学技術専門学校(大森昭三校長)は10月12日、都内で創立50周年記念式典を行った。同校は、臨床検査技師養成施設の老舗校として国家試験の合格率も常にトップグループをキープし、これまで2700人の臨床検査技師を排出してきた実績をもつ。式典後の講演会では、河合忠・国際臨床病理センター所長が臨床検査50年の歩みについて記念講演を行った。このほか、順天堂大学病院、千葉県がんセンター、聖路加国際病院などの実習病院19施設や8人の功労者、10人の永年勤続者に感謝状が贈呈された。

=====

JACLaP WIRE, No.52 (2002年11月14日発刊)

発行：日本臨床検査医会 [情報・出版委員会]

編集：JACLaP WIRE 編集室 編集主幹：満田年宏

記事・購読(配信)・広告等に関するお問い合わせ先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9 横浜市立大学医学部臨床検査部医局内

e-mail : jaclap\_wire@yahoo.co.jp

TEL:045-787-2721 FAX:045-786-0392

日本臨床検査医会ホームページ : <http://www.jaclap.org/>

JACLaP WIRE バックナンバー : <http://www.jaclap.org/wire/index.html#TOP>

\*\*\*\*\*

会員の皆様からの寄稿をお待ちしております！

\*\*\*\*\*

メーリングリスト配信先の変更には

1.氏名, 2.現行登録アドレスと3.変更希望メールアドレスを添えて

jaclap\_wire@yahoo.co.jp まで「配信先の変更希望」としてお送り下さい。

\*\*\*\*\*